

## 遠洋かつお・まぐろ地域漁業復興プロジェクト（女川③） 宮城県女川町

事業実施者： 日本かつお・まぐろ漁業協同組合 使用船舶名： 第8明神丸（479トン）

支援期間： 平成29年4月1日～令和2年3月31日 （遠洋まぐろはえ縄漁業）

### （主な取組の内容）

#### ● 操業コストの削減：

冷凍機へのアンロード制御及びインバータ制御、魚艙防熱構造の増厚化、SGプロペラなどを備えた省エネ型の新船を建造し、燃油消費モニターを使った省エネ運転を実施することにより燃油使用量を削減。

#### ● 労働環境の改善：

凍結室後部の魚艙から左舷側通路に餌搬出用の開閉ハッチとホイストを設置し餌の搬出経路を短縮化、セントラルクーリングシステムを導入し海水冷却ラインを単純化、ILO基準に準じた船室による快適な居住空間により、労働時間の削減や居住環境の改善を実現する。

#### ● 安全性に対する取組：

燃油タンク内の制油版の増設（2枚→4枚）、放水口の増設等波浪の影響を受けにくく転落事故防止措置を実施することにより、船及び作業における安全性を確保する。

#### ● 気仙沼地域への水揚：

気仙沼で漁獲物の一部を水揚げし、同地域の復興に貢献する。



### （事業の成果）

- 冷凍機のアンロード制御やSGプロペラを備えた漁船の導入により、燃油使用量は従前より**12.20～13.18%減少（124.3KL～134.3KL削減。火災の発生した3年目を除く。）**し、操業コストの削減を図ることができた。
- ILO基準に準拠した船室（0.23m<sup>2</sup>/人 → 1.02m<sup>2</sup>/人）等による快適な居住環境を実現した。
- 放水口の増設（25カ所→28カ所）等により船及び作業の安全性を確保した。
- 気仙沼での漁獲物の一部水揚げおよび、燃油等の積み込みにより、地域経済の活性化に寄与することができたものとする。